

研究通信

№49

1964. 8刊
村落社会研究会
事務局
東京都港区芝三田
慶応義塾大学
第三研究室内

◎第十二回大会について

既報の通り来る九月二十三日、二十四日の両日箱根町強羅静雲荘（文部省共済組合宿舍）において第十二回村落社会研究会大会を開くことになりました。

大会プログラム及び発表される研究のレジユメは本研究通信に同封して送附いたします。

参加に関する諸費用をお知らせいたします。

1. 大会参加費 二〇〇円
2. 懇親会費 三〇〇円

3. 宿泊料（一日分）

部屋代	二三〇円
夕食代	二六〇円
朝食代	一一〇円
昼食代	一三〇円
入湯税	二〇円
計	七五〇円

これに対する課税（一割）

七五円

合計 八二五円

4. 本年度会費 五〇〇円

なお、研究発表者の持時間は自由課題は一人につき四〇分、質疑応答一〇分、共同課題は一人につき一時間二〇分、質疑応答二〇分といたしました。右は研究御発表の優劣によるものではなく、プログラム編成の都合によつてそうなのであることを御了承頂きたいと存じます。